北海道
東川町
－写真の町－
写真文化首都

ひがしかわ 議会だより

開拓130年記念イベント大黒摩季ライブ

令和５年度決算……２～３
第３回定例会・第４回臨時会を開催……４～５
町民と議会の意見交換会……５
監査委員の審査報告……６
ここが聞きたい！一般質問に５議員が登壇……７～11
意見書……11
議会改革等特別委員会中間報告……12～13
議案審査結果……14～15
議会日誌……16

No.203
令和６年11月１日発行
発行：東川町議会
編集：議会報編集特別委員会
〒071-1492 北海道上川郡東川町東町１丁目
☎0166-82-2111

令和５年度 一般会計・診療所特別会計

172億円の決算を認定

下水道事業会計も原案通り認定

●９月10日、令和５年度一般会計、診療所特別会計、下水道事業会計決算について、佐藤副町長の説明、長原代表監査委員の報告を受けました。

●総務文教・産業建設常任委員会にて11・12日に各課から決算説明を受けました。

●17日の本会議では各会計の決算を全会一致で認定しました。

一般会計

当初予算は約128億９千万円、11回の補正を行い最終予算額は198億２０４９万円です。

歳入決算額は１７２億６７８７万円に対して歳出決算額は１６７億８７２９万円で翌年度繰越分を除くと実質収支額は４億７８８９万円の黒字となりました。

実質単年度収支はマイナス１億４６３８万円です。

Q（今綾議員）
今回の決算額は過去最高であるが町長の所感は。

A（町長）
前町長が予算化したものに町民の福祉向上を考え追加で予算化して執行した結果であると思います。

歳入

町税は９億９１６９万円、昨年より２５７１万円減少しました。

国からの普通交付税は前年度比１億３１１２万円増の33億８８６１万円、特別交付税は前年比１億４９４４万円増の15億１７９２万円でした。

歳出

公債費（借金返済）は19億５１２５万円、前年度と比較して増額です。

物件費（人件費・維持補修費・扶助費等）は24億９０６７万円、補助費等（負担金・各種補助金及び交付金等）は37億２８３５万円、それぞれ前年度と比較して大幅に増額しています。

佐藤副町長

Q（飯塚達央議員）
高校生国際交流写真フェスティバルの費用対効果は。

A（町長）
費用は増大傾向であるが助成金の確保、参加国に費用を分担してもらうなど負担を軽減していきたい。

事業を通して人脈や関係人口作り、日本語学校や写真の町である東川町に良い影響を与えると思います。

基金の状況

基金は将来の借金返済を考え、前年と比べ３億８０９４万円上積みし、総額44億２０４０万円を積み立てしています。

町立診療所特別会計

診療収入は前年度比１１９４万円減の２億５９６万円です。

収入内訳は前年と比較して入院収入は３６３万円減、外来収入は１２５万円減、検診・予防接種などの収入で７０５万円減少です。

へき地直診調整交付金９６４３万円、町の一般会計からの繰入金として１億６１２５万円、歳入合計は５億２１８７万円、歳出合計は４億５９６０万円です。

下水道事業会計

１年間の企業活動を表す収益的収支では収入１億６９１７万円、支出１億８０９９万円です。

将来の営業活動を行うための諸施設の建設・更新のための費用を表す資本的収支では収入は６３５３万円、支出は１億１６７７万円です。

表１ 一般会計・特別会計歳入歳出決算の状況

（単位：千円）

会計別	歳入	歳出	残高
一般会計	17,267,873	16,787,294	480,579
東川町立診療所特別会計	521,868	459,599	62,269
合計	17,789,741	17,246,893	542,848
前年度	16,829,208	16,099,670	729,538
比較増減額	960,533	1,147,223	△ 186,690

※令和５年度より地方公営企業会計となった下水道事業会計を除く

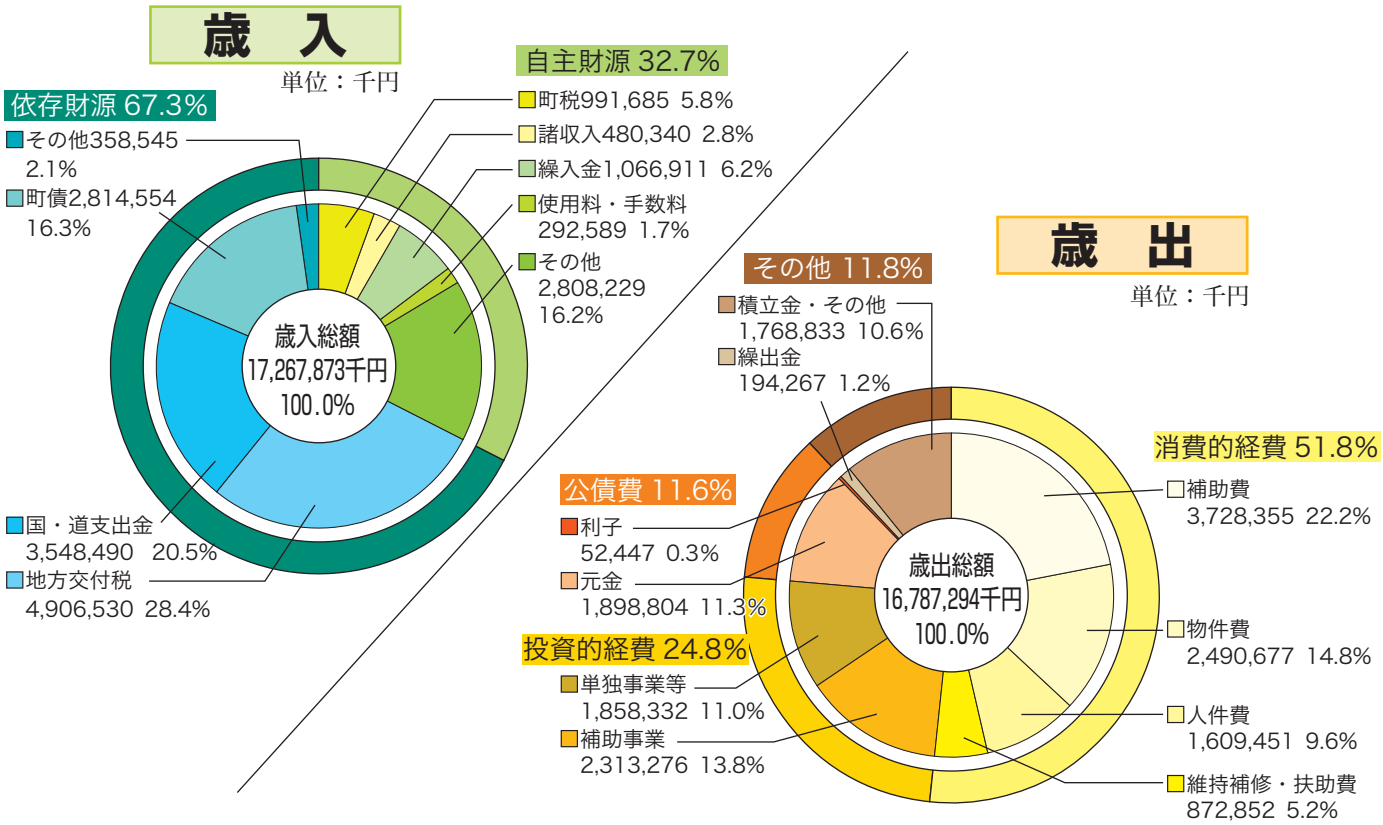

表２ 自主財源の年度別比較

（単位：千円・％）

区分＼年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
町税	927,879	915,434	920,324	1,017,393	991,685
分担金及び負担金	29,381	16,807	27,457	34,526	41,179
使用料及び手数料	276,593	216,593	195,157	255,989	292,589
財産収入	41,145	28,866	24,637	31,958	33,281
寄附金	655,791	903,817	1,295,917	1,384,727	2,053,172
繰入金	268,367	458,209	480,268	776,606	1,066,911
繰越金	190,132	179,237	318,707	458,264	680,597
諸収入	305,753	445,955	362,035	429,763	480,340
計	29.12	25.53	28.13	27.27	32.66
	2,695,041	3,164,918	3,624,502	4,389,226	5,639,754
不動産売払収入を除いた計	28.86	25.45	28.12	27.26	32.58
	2,671,035	3,155,012	3,623,275	4,387,184	5,625,357
歳入決算額	9,287,269	12,397,438	12,884,063	16,092,496	17,267,873

第３回 定例会を開催

●第３回定例会を、令和６年９月10～17日まで開催しました。
●５名の議員が、一般質問をしました。
●令和５年度一般会計・特別会計の決算を認定しました。
●令和６年度一般会計・特別会計の補正予算案・人事案件・条例案・請負契約・報告などについて審議し、原案可決または同意・報告済としました。

第３回定例会

一般会計補正 第４号

歳入歳出それぞれ１億227万円を増額し、総額は169億834１万円で、主なものは次のとおりです。

歳入

①児童手当負担金
（215４万円）

②物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
（389万円）

③新型コロナ定期接種ワクチン確保事業助成金
（830万円）

Q（杉本岳大議員）
①レプリコンワクチンを使いますか。
②安全性を町として評価できていますか。
③ワクチンのメリット・リスクを町民に知らせますか。

A（佐々木保健福祉課長）
①レプリコンワクチンを使用する予定はありません。
②国でワクチンの有効性に関する科学的知見を踏まえ決定します。
③広報などで周知して行きます。

④畑地化推進事業補助金
（458万円）

⑤地域スポーツクラブ活動体制整備事業委託金
（700万円）

⑥地方創生応援税制寄付金
（2300万円）
近藤誠一氏による「日本の心」、４冊目発行にかかる費用です。

⑦災害対策拠点機能強化事業
（2000万円）

歳出

①大雪山アーカイブス事業
（260万円）
大雪山文化の発展に寄与した故清水敏一氏の遺稿を大雪山調査会設立100周年記念誌として発刊するための費用です。

②地方創生応援税制魅力発信事業（2300万円）
元文化庁長官の近藤誠一氏による「日本人の心」をふるさと納税などにより、第４巻を発刊する費用です。

③介護給付・訓練等給付事業
（707万円）
令和５年に実施した国費事業の事業費確定に伴う返還金です。

④児童手当支給事業
（1937万円）
児童手当の支給拡大に伴う費用です。

⑤各種予防接種委託料
（1330万円）
10月より65歳以上などを対象に新型コロナウイルスワクチン定期接種を開始するための費用です。

⑥北団地ストック総合改善事業
（700万円）
公営住宅地団地の水中ポンプ設置および配管工事を行うための費用です。

⑦中学校教育振興事業
（400万円）
東川中学校吹奏楽部が、茨城県にて開催される東日本学校吹奏楽大会に出場することとなったことから、参加に係る費用です。

⑧物価高騰支援給付金
（436万円）
住民税非課税世帯等に対して、国の物価高騰対策として、ＨＵＣポイントまたは現金による給付を実施していますが、所得確定により給付世帯数が当初の見込みを上回った為の費用です。

診療所会計補正第３号

歳入歳出それぞれ１３０５万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ５億２４３万円です。

歳入

①各種予防接種など
（1530万円）

歳出

①医療用衛生材料費
（1160万円）

条例の一部改正

東川町立東川日本語学校条例の一部を改正する条例の制定

Q（鶴間松彦議員）
これまで定員１００名の１２０％まで超過しても良いと言われていましたが、定員数が１２０名に変更されますが今後も１２０％超

過を可能としますか。

A（佐藤副町長）

定員が年間120名となるので、その人数を超過しない運営をしていきます。

請負契約

西5号道路改良工事

（1億1330万円）

5社による指名競争入札を行い、㈱ベストが落札しました。

幼児センター大規模改修工事請負契約の変更

（2億9961万円）

工事内容の変更に伴う増額です。

幼児センター大規模改修工事

町道路線の廃止及び認定

共生プラザそらいろと公営住宅公園団地に位置する道路の廃止および認定です。

北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更

「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」によるマイナンバーカードと被保険者証一体化に伴う規約の変更です。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員

金田利浩氏を選任することに同意しました。

教育委員会委員

柏原定和氏を任命することに同意しました。

被表彰者の推薦

善行表彰

・行天　容子　氏
・越智　郁子　氏
・松田　善春　氏
・佐藤　茂　氏
・藤田　裕三　氏
・宮崎　邦範　氏

・㈱ファインドスターグループ
・㈱R-body
・㈱竹村コーポレーション
・エア・ウォーター・ライフソリューション㈱
・SATO社会保険労務士法人
・大地コンサルタント㈱
・富士見工業㈱
・㈱モンベル
・㈱内田洋行

第4回臨時会

（8月7日）

請負契約

キトウシの森合併処理浄化槽改修工事請負契約

（6963万円）

6社による指名競争入札を行い、花本建設㈱が落札しました。

令和6年度　町民と議会の意見交換会

皆さまの生の声をお聴かせいただき、よりよいまちづくりに反映させるため町民と議会の意見交換会を開催します。今年は議会をより身近なものに感じていただくことを願い、議場の見学も予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時　**11/20（水）**　1回目　10：00～12：00　2回目　18：30～20：30

※午前と午後に開催します。ご都合の良い回にお越しください。
※事前申込みは不要です。直接会場へお越しください。

会場　東川町役場3階大会議室

プログラム
①議場見学～議場の中をご案内します。
②意見交換会～町政全般について意見交換。

お問い合せ：東川町議会事務局　TEL.0166-82-2111
E-mail　gikai.jimukyoku@town.higashikawa.lg.jp

北海道 東川町 －写真の町－ 写真文化首都

監査委員の意見　令和5年度

長原代表監査委員

●一般会計決算

歳入歳出総額は約170億円で規模が大きいが、合規性をもって正確に処理され近郊の市町と比較すると少ない職員数で業務を行い、主要財政力指数等も良好な位置にあることに理事者並びに職員に敬意を表すと共に、今後とも財政状況に配慮しつつ町の課題解決に積極的に取り組んで頂きたいと思います。

今回の決算審査の中では次の2点について今後配慮いただきたい。

一点目は、委託料の契約締結でありますが地方公共団体の契約は一般競争入札、指名競争入札、随意契約又はせり売りの4種で、随意契約は、地方自治法施行令第167条の2の第1項1号から第9号までに該当する場合に限り特例的に行うことができます。

その場合は、原則2名以上の者から見積書を徴収し、予定価格以内で随意契約をする見積もり合わせを基本とすることから、次の4点について配慮いただきたい。

①随意契約は見積もり合わせを基本とすること。

②やむを得ず1社特命随意契約の場合はその理由と関係条項を明確化すること。

③委託業務仕様書に具体的な業務内容と成果品一覧を記載すること。

④予定価格が算定できず、一式計上の場合は業務終了時に受託者の実支出額で精算を行うこと。

2点目は地域公共交通対策事業についてですが乗り合いタクシー事業は町民の足の確保として主要な政策です。

本件事業の執行に際して最小の費用で最大の効果を挙げるよう配慮いただきたい。

●診療所特別会計決算

一般会計からの繰入金が前年度に比べ約6000万円多い1億6125万円となっています。

新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられ関連する交付金や支援金が廃止されたことと、翌年度への繰越金が6227万円と多額になっていることが要因と思われます。

今後とも一般財源の繰入額縮減に努めていただきたい。

診療所は地域にとって必要な医療を継続的にかつ安定的に提供し、安心安全で町民から信頼される地域医療機関を目指していただきたい。

●土地開発基金運用状況

定額の資金運用をするための基金（土地開発基金）の令和5年度の収支の状況は、町有地として売却したもの1か所、売却額合計4500万円と利息額9万円の合計4509万円を積立、2件の土地購入費117万円を取り崩しており、現金(預貯金）年度末残高は1億2265万円となり、土地購入による運用額7927万円（6件分）との合計額は、2億192万円となっています。

審査の結果、運用は設置目的に沿って正規な手続きに従って行われたものと認められました。

●下水道事業会計決算

地方公営企業法の財務適用初年度でもあり、その関係書類はいずれも法令に準拠して作成されています。

出納事務における計数は正確であり、かつその予算執行も適正であると認めます。

経営状況を示す損益計算書や対象および貸借対照表は審査の途中で固定資産が正確に把握されないことが判明し、法適用初年度であることも相まって財務状況の掌握が困難です。

次の2点について意見を述べます。

1点目は、下水道固定資産を正確に把握し、経営状況を明らかにすべきである。

2点目は西部処理区と旭岳処理区で収支のバランスが異なりますがそれぞれの処理区の目的を踏まえ経営分析と今後の経営計画を立てるようお願いします。

一般質問 ここが聞きたい

（5議員が登壇）

問 AEDに三角巾の配置は

答 近日中に配置

薦田　敏次

（一問一答方式）

質問

①AEDを使用する際に女性など胸部を覆ってプライバシーを守る役割のほか、患部固定や出血など応急処置にも使用できる三角巾の配置をいつ頃までに完了する予定か。

②公共施設だけではなく、民間施設、スーパーとかコンビニなどに置かれているAEDにも三角巾を配置しては。

町長

①近日中に各施設のAEDの設置箇所に三角巾を配置します。

三角巾の使用方法の表示も検討していきます。

②民間施設にあるAEDには三角巾の配置は考えていません。

一方で三角巾の有用性・必要性は認識をしていますので、公共施設に配置してその状況を見ながら、民間施設の配置・周知を呼びかけていきたいと思っています。

AEDと三角巾の設置

問 サニタリーボックス配置は

答 男性トイレに試行的に配置

質問

尿もれパッドは男女問わず使用するので、公共施設の男性トイレにもサニタリーボックスを配置しては。

町長

主要な施設については多目的トイレに配置されています。

シニアセンターでは、男性トイレに試行的に配置をしています。

問 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成は

答 国の導入を見据えて検討する

質問

帯状疱疹は、子どもの頃の水疱瘡のウイルスが体の中に残っており、50歳から80歳ぐらいの中で30％ぐらいの割合で発症します。

帯状疱疹の生ワクチンが2万円程度、不活化ワクチンは2回接種が必要で4万円かかります。

国は帯状疱疹ワクチンの定期接種が考えられていますが、町で先行して助成する考えはありませんか。

町長

ワクチン接種の必要性と、近隣自治体の鷹栖、上川、当麻、愛別町で助成をしていることは認識しています。

厚生労働省でワクチンを定期接種に位置付ける方針が示されており、国で来年4月導入と見据えているので、それに合わせて検討していきたいと思います。

町における接種費用助成は国の動向も踏まえ、コロナやインフルエンザの定期接種のめどがついた段階で、次年度での予算化実施について検討していきます。

問 75歳以上の歯科医療の無料化を

答 口腔の啓発活動を充実させていく

鶴間　松彦

（一問一答方式）

質問

75歳以上の町内歯科医療を無料にすると280万円程度と試算されますが、高齢者の健康維持と考えるとそれほど大きな負担ではないと思いますので、無料化する考えは。

町長

280万円は町内3か所の歯科医療機関での試算ですが、旭川市なども含めると500万円ぐらいになると考えられ、さらに無料化となると診療が促進されて金額は上がると考えられます。

町としては町内の交通対策のあり方の全面的な見直しや、高齢者を中心とする町民の居場所をしっかりと確保し、健康増進に寄与するプログラムを充実させるなど、高齢者が自分らしく生活できるような環境を整えることが推進すべき優先課題だと考えています。

質問

体力をつけるためには食事が大事で、歯をしっかり守る必要があり、口腔衛生・治療が病気に与える影響を軽減すると言われているので、歯科医療は重要では。

町長

口腔衛生の必要性については認識をしており、シニアクラブに対して口の健康講座を実施したり、いきいきセンターで口腔機能向上事業を年2回実施しており、今後更に充実させていきます。

問 東川高校の今後は

答 魅力化を図ります

質問

今年度の入学生は71名で昨年の52名から増加しましたが、主な要因は。

教育長

校長のリーダーシップのもとで教職員の意識改革を行い学校の魅力化に前進する機運が生まれています。

学校説明会で生徒自ら学校行事や部活を説明したり、パンフレット類の刷新、学びのイベントの実施効果に加え、町のマスコミへの露出も増えそれらの相乗効果だと思っています。

質問

中学生が減少する中で高校を存続させるためには、現在の2クラスを維持した方が良いのでは。

教育長

1クラス減ると教員が11名しか配置されず、2クラスだと21名配置され、魅力ある教育課程を作れば更に教員の加配も可能というメリットがあります。

1クラスでは先生が配置できない科目が生じて配信授業で学ぶことになったり、部活動や行事などにも支障が出るため、2クラスは必須だと考えます。

質問

旭川市内の普通高校との競争が激化する中で魅力のあるカリキュラムが求められると思いますが、東川町は国際交流が非常に盛んなので語学教育に特化することを検討したり、町立化という道もあるのでは。

教育長

令和7年4月から国際教育の科目を新たに設置しようと協議しています。

存続のため様々な子どもの学びの多様化に対応できる教員の配置も道にお願いしていますが、それでも道立では存続が難しいとなれば町立化の検討も必要ですがその場合は、幼小中との連携や地域の産業や町が協定を結んでいる企業との連携などで魅力あふれる学校づくりが可能になると思います。

東川高校の入学案内パンフレット

問 中学校部活動の地域移行は

答 今年度中に地域クラブに移行

高橋　恵

質問

これまで学校が主体となっていた部活動を、新たに教育委員会が主体となる地域クラブ活動に移行する取り組みが始まりましたが、計画はどこまで進んでいますか。

地域移行については教員の働き方改革の推進になり、学校教育の質の向上も期待されます。

新たな取り組みでもあり保護者は不安な気持ちを持っている方も少なくないと思います。

どんな声が教育委員会に寄せられていますか。

教育長

少子化が進展し学校の働き方改革が進む中、部活動を従前と同様の体制で運営することは大変難しくなってきています。

スポーツ庁・文化庁は、2023年度から3年間を改革推進期間と位置付けており、町では中学校にある九つの部活動を地域クラブへ移行する取り組みを進めています。

保護者の方からは、生徒の活動がどう変わるのか、指導者はどうなるかなどの声が寄せられています。

9月より各部活動ごとに保護者説明会を開催し、地域クラブの運営方針や今後の見通しなど説明を行っていく予定です。

早ければ10月頃から、遅くとも今年度中に全ての部活動を地域移行する予定で進めています。

再質問

地域移行の取り組みをきっかけに全道・全国大会に出場する個人・団体対象の補助金の見直しも検討しませんか。

遠征費は監督が100%を補助、選手とコーチは75%補助されています。

近年、熱中症で子どもの死亡率が増えてクールタイムを設けている種目もあり、そこには保護者が救護する規定もあるので、サポートする保護者への補助も新たに検討してはいかがですか。

教育長

これまでも引率指導者だけではなく、サブコーチやマネージャーのような役割の方にも補助してきましたが、必要であれば修正をしていきます。

町長

町としては子どもたちの活躍を最大限応援するという考え方のもとで、現行制度によって幅広く補助を行ってきました。

例えば一部の保護者など、必要となるような方々に対しての措置も認識していますので、地域移行による変化を見定めながら対応を図っていきます。

部活動（剣道部）

問 農業機械の補助事業は

答 国の予算及び制度の動向を注視

津谷　俊弘

質問

国営緊急農地再編整備事業は今年度終了時点で全体の43％を終えようとしています。

計画通り作業の効率化はかなりできていると思います。

水田が大きくなり更なる効率をと考えるのが自然の流れで機械も更新時期に合わせて大型化してきています。

機械を更新する際、農業を取り巻く環境も厳しくあらゆる物の価格が上がり、農業機械においては価格が1・5倍以上も上がっているものがあり負担が大きいです。

現行の補助事業は目標ポイントのハードルが高く採択もなかなか受けられていません。

現行の事業が続くのか新たに補助率の高いものが出てきますか。

町長

国営緊急農地再編整備事業は今年度事業が完了すると、第一地区が1157ヘクタールのうち688ヘクタールで進捗率58％、第二地区は163 9ヘクタールのうち513ヘクタールで進捗率31％となり、町全体では2796ヘクタールのうち1193ヘクタールが完了となり進捗率は43％という状況で、概ね順調に進んでいます。

昨年から東川町農協が事業主体となり、町も全面的な支援を行っている東川ライスターミナル整備事業は、今年6月に精米施設が稼働を開始し、来年には乾燥調製施設など全ての機能が稼働することになり、稲作における効率化、省エネルギー化に大きく寄与するものと考えています。

これらの事業に伴い、農業経営の効率化や規模拡大が進行することが想像できることから、農業機械の更新が必要となっていくことも承知しています。

ここ数年は他産地における目標ポイントが相対的に上がっている傾向があり、本町においても申請受付の相談時にポイントを試算し、採択想定ポイントに届いた事業について申請をしているところですが、申請しても採択に至らないケースも増えてきている状況です。

令和7年度農林水産関係予算概要要求では、全体で前年度対比116・3％増の2兆6398億円、前年度は2兆2686億円と示されました。

具体的な補助要件などは示されていませんが、新たにスマート農業技術活用促進集中支援プログラムが盛り込まれています。

農業機械更新などについては、国の補助制度の活用に頼らざるを得ない状況です。

本件に限らず国の予算及び制度の動向に注視するとともに、補助事業の詳細が提示されましたら速やかに農業者の皆様へ情報提供させていただきたいと考えています。

東4号基盤整備事業

問 孤独や孤立死を防ぐ対策は

答 孤立者の把握と横の繋がりを強化

藤倉 智恵子

質問

2024年4月より孤独・孤立対策推進法が施行されました。

この法は孤独や孤立による心身への有害な影響を受けている人々への支援を目的としています。

重要とされていることは民生委員・見守り隊・町内会・ボランティアなどがありますが、関わり方も含め対策としてどのように考えますか。

町長

高齢者を対象に地域包括支援センターを事務局とし実態把握のために訪問を実施しています。

令和3年度から5年度にかけて、75歳以上の単身高齢者約420名のうち、関係機関と関わりのない方は185名います。

そのうち、緊急性のあるケースは把握されませんでした。

必要に応じ、福祉介護サービスを紹介し対応を行ったところです。

本年度から75歳以上の高齢者のみで構成されている世帯を対象に関係機関が情報を有していない場合は訪問をしています。

その一つとして配食サービス事業を通じて見守り機能を強化しています。

質問

若い世代の単身者は把握していますか。

町長

75歳以下の世代の単身者については把握をしていません。

本町の利点として、隣同士の付き合いや隔てなくコミュニティを形成できるような取り組み事業が盛んに行われています。

それらを促進できるような支援制度も作っていますし、成果が出ていると感じます。

以上のことから、引き続き孤独・孤立死を防ぐための見守り対策について社会福祉協議会や民生委員などと協力しながら実施していきます。

意見書を採択し、議長名で衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣およびそれぞれの関係大臣に送付しました。

国の責任で教職員未配置の改善を求める意見書

①国の責任で、教職員未配置を抜本的に改善するための措置を早急に講じること

特別支援学校の過大過密解消及び特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書

①特別支援学校建設のための国庫補助率3分の2へ引き上げること

②特別支援学級の学級編制標準を改善すること

えん罪被害者を速やかに救済するために再審法改正を求める意見書について

①えん罪被害者を一刻も早く救済するために、再審法を速やかに改正すること

議会改革特別委員会報告書

中間報告

第1回から第6回までの調査検討を重ねる中で、現時点において特別委員会としての方針がまとまり決定となった事項について結果を報告する。

現在検討中の事項については引き続き調査検討を行い最終報告において報告を行う予定である

1　インターネット中継の導入・議会ライブ配信について

議会における議論の透明性を図る機会として、従来は傍聴や議事録の公開がその役割を果たしていたが、高齢化や住民の日常生活の多忙化など住民の生活様式が変わる中、各家庭に普及した電子通信機器をつかって時間にとらわれず議会を傍聴できるインターネット中継による視聴機会の提供は本町においても必要な取り組みとなってきているところかと考える。

特に近年では東川町を選好し定住を決めた住民が多くいることから、潜在的に町の政策形成の過程について高い関心を有している者が増えてきていると思われる。

そのような住民のためにもこの時期に視聴機会を提供することは大きな意味をもつのではないだろうか。

また、全国的に議員のなり手の不足というのが大きな課題となっている。

なり手不足の要因は複数あると言われているが、その一つの要因が議会の敷居の高さだと言われている。

住民誰もが議会での議論を気軽に視聴できるようにすることにより、町政や議会に対する敷居が低くなり、町政を理解し、関心が高まるきっかけとなる。

このことは次の選挙を踏まえた議員のなり手不足解消の一助にもなることも期待でき、これらのことからも導入を進めていくべきと考える。

中継手法のイメージについて

令和6年6月20日第2回定例会では議会録画のデモンストレーションを行った。

事務局において簡易な編集をしたものを視聴したところであるが、結果を見る限り、既存設備にカメラを接続した簡易な整備ながら記録、音質とも良好に撮れていた。

他市町村の議会中継では質問議員のクローズアップなどを用いた操作、編集を駆使し中継しているものもあるが、デモを見る限り議員側・執行者側全体の2画面での切り替えで十分に議会の雰囲気・内容は伝わると考える。

また、ライブ中継が良いのか録画中継が良いのかという議論においては、視聴者のニーズはそれぞれ異なるので基本的には両方の方式導入を目指すべきだと考えるが、優先度においては住民が時間にとらわれず議会中継を視聴できる点やライブ継で危惧される不適切な発言等の初期の対応を考えるとはじめの取り組みとしては録画中継の方が優先度は高いのかと考える。

具体的な運用については執行者側と十分協議する必要があるため、今後も検討が必要であるが、コストと必要性を勘案し適切な方法で議会中継を進めていくことを願うものである。

併せて、議会中継を検討するにあたり東川町のホームページについても議論があった。

議会中継を行うにあたり東川町のホームページがプラットホームになっていくことから配信ページへアクセスしやすいよう議会ページの見せ方について見直しを望むものである。

以上をもってインターネット中継に関する議論のまとめとする。

2　タブレット端末等の導入について、デジタル機器会議利用の規定整備、データ管理の電子化等について

タブレット端末の導入については膨大な紙資料の縮減による経費、環境への配慮の他、過去資料の保存、通信機能やグループウエアを用いた連絡調整機能など議員活動においても有用な機能を有しており、特にペーパレス化については時代の要請とも捉えられ各地の議会でも導入がすすんできているところである。

本町議会においても過去の特別委員会から議論は行われており、導入時期を伺ってきたところであるが、執行側のペーパレス化が進む中、議会においても導入を決定し機器操作の習得を進める時期が来たと考える。

機器の選定について

議会としては、議案等資料へのメモ機能は必須であることから、電子文書にペンを用いて書き込みのできる以下の機器でデモ機を借用し検証を行った。

①ＩＰａｄ　Ｐｒｏ（13インチ）※タブレット型

②Microsoft surface PRO（13インチ）※ＰＣ型　ＩＰａｄ　Ｐｒｏについてはいわゆるタブレット専用機であり、表示の美しさ、書き込みの際の滑らかな反応はsurface PROを大きく上回っている。

デメリットとしてはフォルダの管理概念がＰＣとは異なること、ＰＣ型と比べて複数画面の展開操作が難しいところ、文書の作成で用いられるマイクロソフトオフィスが課金制しか選択できずランニングコストが発生することがあげられる。

一方、Microsoft surface PROについてはＰＣに書き込み機能を装備した機種であるが、画面拡大縮小を行う際の表示の滑らかさ、電子ペンを使った書き込みの反応についてはタブレット専用機より劣るところであるが、フォルダ管理の概念や、複数のファイルの展開が可能な点など慣れ親しんだＰＣでの利用と同じ方法で利用できる。

利用方法が単体議案の表示だけであれば多くの議会が採用しているＩＰａｄ　Ｐｒｏがよいと考えられるが、本町議会での運用を考えた際、議案の閲覧だけではなく、通信機能の利用や、機器を用いて文章作成や文書管理を行うなど、複数業務での利用により導入の効果を高めていかなければならないと考える。

また、ＰＣについては習熟度については議員間で差があるとはいえほとんどの議員が使ったことがあり、導入時のハードルはタブレット型に比べ低いと考えられることから、ＰＣ型の機器の中から機種を選定し導入を検討すべきという結論に至った。

デジタル機器会議利用の規定整備、データ管理の電子化等について

機器導入にあたり、議場での利用規定についても整備が必要であると考える。

電子機器を導入した場合においても、操作性においては紙媒体に軍配があがることは否めず、議案に関連する個人的な資料などについては別の電子機器で管理することも想定されることから電子機器を複数台持ち込むことを可とすべきかどうかの議論もあった。

議場内での電子機器の使用については規律として明確でない部分もあり、議会での議論の内容を高めるために電子機器の使用についてどのような規律とすべきか、執行側とも十分に協議、検討する必要がある。

また、データ管理の電子化をすすめるべきという項目については今後タブレット化が進むにつれ資料の電子化がすすむのかと思うが、過去の資料についても議員が簡易にアクセスできる環境を構築されることを望むものである。

以上第６回までの議会改革等特別委員会において決定した事項について報告する。

（令和６年８月７日）

議　決　の　内　容	結　果
・キトウシの森合併処理浄化槽改修工事請負契約（契約金額69,630千円）	原案可決

（令和６年９月10日～17日）

議　決　の　内　容	結　果
・原案のとおり認定。 ・　　〃 ・　　〃	原案認定 〃 〃
・102,271千円を増額し、総額16,983,417千円とする。 ・13,056千円を増額し、総額502,434千円とする。	原案可決 〃
・東川日本語学校の定員数を120名とし、６カ月コースを廃止する改正。	原案可決
・高橋重敏氏の任期満了に伴う金田利浩氏の選任（新任）。 ・任期満了に伴う柏原定和氏の任命（再任）。 ・善行表彰６名９法人（行天容子氏、越智郁子氏、松田善春氏、佐藤茂氏、藤田裕三氏、宮崎邦範氏、株式会社ファインドスターグループ、株式会社Ｒ－body、株式会社竹村コーポレーション、エア・ウォーター・ライフソリューション株式会社、ＳＡＴＯ社会保険労務士法人、大地コンサルタント株式会社、富士見工業株式会社、株式会社モンベル、株式会社内田洋行）	原案同意 〃 〃
・地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づく報告。	報　告　済
・西５号道路改良工事請負契約（契約金額113,300,000円）。 ・幼児センター大規模改修工事請負契約の変更（契約金額299,618,000円に変更） ・公園団地道路における町道路線の廃止及び認定。 ・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正に伴うマイナンバーカードと被保険者証一体化関係部分の変更。	原案可決 〃 〃 〃
・総務文教常任委員会委員長より意見書について趣旨説明 ・　　〃 ・　　〃 ・　　〃	原案可決 〃 〃 〃
・議会改革等特別委員会委員長より報告	報　告　済
・総務文教・産業建設・議会運営の各委員長からの申し出 ・上川管内町村議会議員研修会に全議員を派遣する 産業建設常任委員会所管事務調査に産業建設常任委員会委員を派遣する 総務文教常任委員会所管事務調査に総務文教常任委員会委員を派遣する	原案可決 〃

●●●議会を傍聴しませんか●●●次回は12月12日～13日の予定です。

町議会では、町民の暮らしに関する重要な事柄が審議されています。

議場は、役場３階、傍聴席は30席あります。
団体の傍聴は、資料の準備もありますので、事前にお知らせください。

議会事務局
82－2111

第４回臨時会の議案審議結果

区　分	議　　件　　名
その他案件	・キトウシの森合併処理浄化槽改修工事請負契約について

第３回定例会の議案審議結果

区　分	議　　件　　名
決算認定	・令和５年度　東川町一般会計歳入歳出決算認定について ・令和５年度　国民健康保険東川町立診療所特別会計歳入歳出決算認定について ・令和５年度　東川町公共下水道事業会計決算認定について
補正予算	・令和６年度　東川町一般会計補正予算（第４号）について ・令和６年度　国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第３号）について
条 例 等	・東川町立東川日本語学校条例の一部を改正する条例の制定について
人事案件	・東川町固定資産評価審査委員会委員の選任について ・東川町教育委員会委員の任命について ・被表彰者の推薦について
報　　告	・令和５年度　東川町一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに東川町下水道事業会計決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について
その他案件	・西５号道路改良工事請負契約について ・幼児センター大規模改修工事請負契約の変更について ・町道路線の廃止及び認定について ・北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について
意 見 書	・国の責任で教職員未配置問題の改善を求める意見書 ・特別支援学校の過大過密解消及び特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書 ・えん罪被害者を速やかに救済するために再審法改正を求める意見書 ・東川町議会のあり方等諸課題についての調査、研究に関する中間報告書
調査報告	・東川町議会のあり方等諸課題についての調査、研究に関する中間報告書
そ の 他	・閉会中の所管事務等の調査の申し出 ・議員派遣について

全員協議会の開催状況

区　　分	開　催　日	議　　件　　名
第７回全員協議会	令和６年８月29日	・町からの情報提供事項について ・東川町建設業協会からの要望事項について ・議会改革等特別委員会中間報告について

議会日誌

8月

1日　無縁墓碑慰霊祭
2日　写真甲子園2024表彰式・閉会式
3日　第40回写真の町東川賞授賞式
5日　富山県射水市議会いみず志政会・自民議員会議員視察対応
6日　山形県上山市議会市民クラブ議員視察対応
7日　東川町議会第４回臨時会
　　第４回議会改革等特別委員会
8日　長野県上田市議会新生会議員視察
20日　北海道町村議会議長会議会広報研修会（札幌市）
　　第９回高校生国際交流写真フェスティバル開会式
21日　例月公金出納検査
　　美瑛・東神楽・東川町議会議員交流会（東神楽町）
22日　東川町産業振興懇談会
23日　上川中央部市・町議会議長会定例会議（美瑛町）
24日　第９回高校生国際交流写真フェスティバル閉会式
27日　定例会前各常任委員会
　　第６回議会改革等特別委員会
28日　岩手県八幡平市議会議員視察対応
29日　第７回全員協議会

10月

1日　第７回第２次議会改革等特別委員会
　　東川町議会森林・林業・林産業活性化推進議員連盟設立総会
　　第６回議会運営委員会
2日　旭川福祉専門学校令和６年度10月期入学式
3日　東川日本語学校第19回入学式
　　大分県佐伯市議会さいき会視察対応
4日　議会報編集特別委員会①
8日　家畜感謝祭
11日　議会報編集特別委員会②
16日　更別村議会議員視察対応
17～18日　上川管内町村議会議長研修会（美深町）
18日　秋田県小坂町議会総務福祉常任委員会議員視察対応
21日　例月公金出納検査
　　議会報編集特別委員会③
22日　上川管内町村議会議員研修会（東神楽町）
23～25日　定例監査
26日　東川第一・第二・第三小学校学芸会
27日　東川小学校学習発表会
28日　沖縄県糸満市議会議員視察対応
29～30日　産業建設常任委員会所管事務調査（弟子屈町・標茶町）
31日　雄武町議会産業厚生常任委員会議員視察対応

議会広報研修会

9月

2日　令和５年度決算監査講評
3日　第５回議会運営委員会
　　高知県議会総務委員会議員視察対応
7日　カーボンニュートラルフェスタ2024
10日　令和６年東川町議会第３回定例会（１日目）
11～12日　各常任委員会議案調査（決算審査）
11日　第46回北海道神宮神饌田抜穂祭
13日　東川日本語学校第18回卒業式
17日　令和６年東川町議会第３回定例会（２日目）
22日　開拓130周年記念イベント
24日　例月公金出納検査
25日　交通安全祈願祭
　　鹿追町議会議員視察対応
26日　行政監査

東川日本語学校第18回卒業式

会議の記録はせんとぴゅあII閲覧室とホームページで見ることができます。